

フィールド2 環境調和

～地域に優しい、地球にやさしい暮らしの実現～

◎地球環境の保全

(単) **太陽光発電推進事業 (環境部 環境保全課)**

64,800千円 (23,909千円)

1 事業目的

地球温暖化防止及び環境保全意識の高揚を図り、住宅用太陽光発電システムの普及を拡大するため、太陽光発電システムの設置に対し補助を行う。

2 事業年度

平成24年度

3 24年度の事業内容

国（J-PEC）の補助を受けた住宅用太陽光発電システム設置者に、太陽電池モジュールの最大出力に3万円を乗じた金額（上限12万円）を補助する。

補助金 64,800千円

4 財源内訳

(1) 県 1/3 21,600千円

(2) 一財 43,200千円

(施) **環境基本計画推進費 (環境部 環境保全課)**

8,648千円 (7,525千円)

1 事業目的

平成16年3月に策定した新居浜市環境基本計画の期間が平成25年度までとなっているため、環境マネジメントシステムで現計画の着実な推進を図るとともに、平成26年度からの第2期新居浜市環境基本計画の策定に取り組む。平成23年度から策定作業を行っている温暖化対策地域計画について引き続き検討を進め、平成24年度末までに計画内容を確定する。

また、改正省エネ法により特定事業場となったことから、着実な省エネルギー対策を進める。

2 事業年度

平成24年度

3 24年度の事業内容

(1) 環境基本計画（第2期）策定 4,781千円

環境基本計画策定業務委託料、環境意識調査用アンケート郵送等

(2) 温暖化対策地域計画策定 2,883千円

温暖化対策地域計画策定業務委託料、環境審議会委員報酬

(3) 改正省エネ法対応 483千円

エネルギー管理員受講料、管理標準整備業務等委託料

(4) 環境マネジメントシステム 198千円

環境監査委員報償費

(5) 環境自治体会議（かつやま会議参加旅費等） 303千円

フィールド2 環境調和

～地域に優しい、地球にやさしい暮らしの実現～

(施) **にいはま環境広場事業費 (環境部 環境保全課)** 【75周年記念事業】

3, 134千円

1 事業目的

環境先進都市を目指すため、市制施行75周年という節目に、高校生による環境保全活動コンテストなど参加型環境フェアを開催し、世代間や各団体の情報交換や交流を図るとともに、環境保全の意識啓発を図る。

2 事業年度

平成24年度

3 24年度の事業内容

開催予定日 平成24年11月18日(日)

場所 市民文化センター及び中央公園など

内容

- (1) 市内高校生による環境活動発表
- (2) 環境商品取扱事業者、団体等による展示・紹介
- (3) 環境クイズラリー
- (4) フリーマーケット
- (5) エコクッキング教室等の開催
- (6) 廃油・古布交換コーナー

◎生活環境の保全

(施) **環境調査費 (環境部 環境保全課)**

7, 097千円 (6,010千円)

1 事業目的

地下水、悪臭、自動車騒音の調査及び河川、事業所排水の水質検査を実施し、生活環境の保全を図る。

また、大気汚染自動測定器の更新や保守により、大気汚染の常時監視を行う。

2 事業年度

平成24年度

3 24年度の事業内容

- (1) 環境調査事業 3, 545千円
 - 地下水モニタリング調査 2地点
 - 地下水概況調査 18地点
 - 自動車騒音業務委託
- (2) 水質監視事業 297千円
 - 公共水域 6河川1遊水地13か所
 - 事業所排水 8事業所16か所
- (3) 大気監視事業 3, 255千円
 - 大気汚染自動測定機保守管理委託
 - 高津局のSPM及び硫黄酸化物計更新

◎ごみ減量の推進

(施) 清掃センター廃棄物処理委託費 (環境部 環境施設課)

287,572千円 (272,118千円)

1 事業目的

清掃センターより排出される焼却灰を適切に最終処分する。

また、清掃センターに保管しているPCB廃棄物を平成25年度に日本環境安全事業株式会社北九州事業所において処理する予定であるため、分析調査を実施する。

2 事業年度

平成24年度

3 24年度の事業内容

- ・主灰処理 4,200t 180,522千円
- ・飛灰処理 870t 106,514千円
- ・PCB廃物調査費 536千円

(施) 家庭ごみふれあい収集事業費 (環境部 ごみ減量課)

10,760千円 (9,023千円)

1 事業目的

家庭ごみをごみステーションまで持ち出すことが困難な高齢者又は障害者が属する世帯に対し、戸別に訪問して家庭ごみの収集を実施することにより、高齢者又は障害者のごみ排出に係る負担を軽減するとともに、日常生活を支援する。

2 事業年度

平成24年度

3 事業の概要

家庭ごみをごみステーションまで持ち出すことの困難な独居の高齢者又は障害者の世帯等に対し、対象となる世帯からの申請に基づき、週1回の戸別収集を行う。

ステーション方式とは異なり、大型ごみを除く各種のごみを一度に収集する。また、収集日にごみの排出が無い場合は、その場で声掛けを行い在宅・不在の確認等も行う。

4 24年度の事業内容

- ・ふれあい収集対象者は、348人。(平成24年1月末現在)
- ・委託料 ごみ収集委託料 10,760千円

4 財源内訳

- (1) 繰入金 10,760千円 (地域福祉基金)

◎下水道施設の整備

(施) **公共下水道事業特別会計繰出金 (環境部 下水道管理課)**

98,800千円 (107,900千円)

※以下特別会計ベースの事業費

◆**管渠等建設事業費 654,000千円 (804,000千円) (下水道建設課)**

1 事業目的

安全で快適な生活環境の創出に向け、下水道の整備を促進することにより、生活環境の改善及び公共水域の水質保全を図ると共に、浸水被害の解消を図る。

2 事業年度

平成23年度～平成29年度

3 24年度の事業内容

(1) 工事費 565,000千円

・汚水幹線 A=7.88ha L=1,474m (150,000千円)

・汚水促進 A=4.91ha L= 865m (40,000千円)

川西汚染幹線、萩生汚水枝線、国領汚水枝線他

平成24年度末普及率目標 58.8%

・雨水幹線 A= 3.25ha L=1,152m (373,000千円)

・雨水促進 A= 0.01ha L= 10m (2,000千円)

岸ノ下雨水幹線、上泉雨水幹線他

(2) 委託料 (実施設計委託) 65,000千円

(3) 事務費 24,000千円

4 財源内訳

(1) 国 50% 315,000千円

(2) 市債 90% 305,100千円 [交付税算入率37%]

(3) 受益者負担金 29,200千円

(4) 一財 4,700千円

◆**単独下水道事業費 865,000千円 (903,500千円) (下水道建設課)**

1 事業目的

雨水の排除と汚水の処理により、生活環境の改善及び公共水域の水質保全を図ると共に、浸水被害の解消を図るため雨水・汚水の面整備を行う。

2 事業年度

平成23年度～平成29年度

3 24年度の事業内容

(1) 工事費 551,100千円

・汚水整備 A=22.87ha L=5,924m (423,200千円)

・雨水整備 A= 2.24ha L= 604m (122,900千円)

・汚水樹(区域外)及び付帯施設整備 (5,000千円)

平成24年度末普及率目標 58.8%

(2) 補償費 (新居浜市上水道移設等) 150,000千円

(3) 委託料 (実施設計委託、現場技術業務委託) 117,000千円

(4) 事務費 46,900千円

4 財源内訳

- (1) 市債 95% 817,000 千円※市債対象事業費 860,000 千円 [交付税算入率 37%]
- (2) 受益者負担金等 5,000 千円
- (3) 一財 43,000 千円

◆管渠等改築事業 29,000千円 (6,400千円) (下水道建設課)

1 事業目的

重要な幹線等のうち、処理場に直結する川西汚水幹線と国領川を横断する川東汚水幹線の耐震化を図るため、調査設計を実施する。

また、老朽化する管渠施設等を計画的に改築更新できるように、施設のデータベース化を実施する。

2 事業年度

平成23年度～平成29年度

3 24年度の事業内容

- (1) 委託料 29,000千円
 - データベース構築 L=22km (14,000 千円)
 - 耐震化調査設計 L=800m (15,000 千円)

4 財源内訳

- (1) 国 50% 14,500 千円
- (2) 市債 90% 6,700 千円※市債対象事業費 7,500 千円 [交付税算入率 37%]
- (3) 一財 7,800 千円

◆終末処理場改築事業 315,500千円 (231,500千円) (下水道管理課 下水処理場)

1 事業目的

下水処理場は、昭和55年の供用開始後33年目を迎え、当初からの運転で老朽化し耐用年数を超えた施設の機能回復を図るため、これらの現有設備を計画的に改築更新する。平成24年度は、昨年度に着手した雨水沈砂池設備に引き続き、新たに平成24、25年度の2か年の継続事業として水処理監視制御設備の改築工事を実施する。

2 事業年度

平成24年度～平成29年度

3 24年度の事業内容

- (1) 工事委託料 312,000千円
 - ・雨水沈砂池設備 (236,000 千円)
 - 機械設備工事・電気設備工事 [H23～24 年度継続事業]
 - ・水処理監視制御設備 (76,000 千円)
 - 電気設備工事 [H24～25 年度継続事業]
- (2) 事務費 3,500千円

4 財源内訳

- (1) 国 50%、55% 159,800 千円
- (2) 市債 90% 140,000 千円 [交付税算入率 37%]
- (3) 一財 15,700 千円

フィールド2 環境調和

～地域に優しい、地球にやさしい暮らしの実現～

(単) 一般下水路整備事業 (環境部 下水道建設課)

110,000千円 (110,000千円)

1 事業目的

安全で快適な生活環境の創出に向け、排水路の整備を促進することにより、生活環境の改善及び水質保全を図るとともに浸水被害の解消を図る。

2 事業年度

平成24年度

3 24年度の事業内容

(1) 工事請負費

角野船木線排水管敷設工事外8件 L=1,470 m 64,000千円

(2) 委託料

角野新田排水路測量設計業務委託外1件 7,000千円

清掃等委託料 8,000千円

(3) 補償費 10,000千円

(4) 施設修繕料 水路、マンホール等の修繕 17,900千円

(6) 事務費 3,100千円

(単) 河川改良事業 (環境部 下水道建設課)

30,000千円 (30,000千円)

1 事業目的

河川改良の実施により、浸水被害の解消及び、生活環境の改善及び水質保全を図る。

2 事業年度

平成24年度

3 24年度の事業内容

(1) 工事請負費

障子川改良工事外3件 11,000千円

(2) 委託料

土砂等撤去委託 西の谷川外4か所 10,000千円

測量設計委託 白浜川外2件 L=710m 9,000千円

◎安心で安全な水道事業の推進

(単) **別子山地区飲料水供給施設整備事業 (経済部 別子山支所) (新市建設計画)**

135,700千円 (253,465千円)

1 事業目的

別子山地域では、豊かな渓流水を飲料水として利用してきたが、大雨や台風時の増水、冬期の凍結、渇水等による断水や水の濁りにより、常に飲料水の確保に苦慮してきたところである。これまでも飲料水の安定供給を図るため、施設整備等に努めてきたが、根本的な解決には至っていない状況にある。

また、近年、水の安全性に対する認識の高まりとともに、地域の著しい高齢化に対応するため、給水施設の拡充整備を実施し、安全・安心・安定した飲料水の供給を図る。

2 全体計画

事業年度 平成21年度～平成25年度

3 24年度の事業内容

- | | |
|---------------|-----------|
| (1) 工事請負費 | 110,700千円 |
| 一式 (筏津、床鍋) | |
| (2) 負担金 | |
| 電力供給工事費負担金 | 25,000千円 |
| 一式 (成、小美野・肉淵) | |

4 財源内訳

- | | |
|-------------|------------------------------|
| (1) 市債 100% | 110,700千円 (過疎債) [交付税算入率 70%] |
| (2) 別子山振興基金 | 25,000千円 |